

大学等名：岡山大学

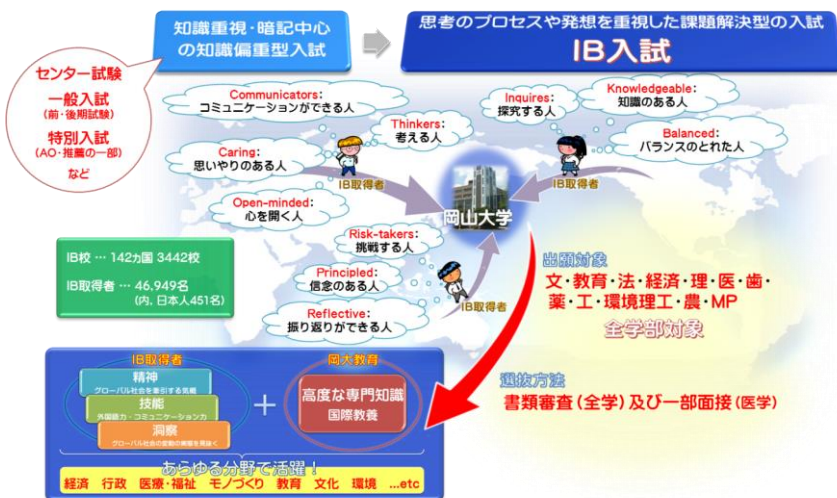
テーマ：テーマⅢ（入試改革）

取組概要

岡山大学では、知識偏重型入試から課題解決型入試への転換を図っており、国際バカロレア (IB) Diploma取得者に対して、一部の学部で若干人を対象に書類審査（一部面接を含む）のみのIB入試を新たな取り組みとして行ってきた。本事業は、日本国内のIB入試を活性化するため、国内外のIB校に対する広報活動を行う。さらに入試改善及び関係機関への情報提供のために、IB教育における6つの科目、課題論文、知識の理論、創造性・活動・奉仕等の調査研究を行う。また、IB入試についての講演会・勉強会等を高等学校関係者と企画し、国内における国際バカロレア教育への理解を深めるとともに文部科学省が推進しているIB入試の拡大を図りIB校増加計画（200校）に貢献することによってIB入試実施大学の拠点校としての役割を果たす。IB入試を拡大することは、能力・意欲・適性を多面的・総合的に評価しうる大学入学者選抜制度への改革につながり、さらには、高校教育の改革につながるものである。

目的

国際バカロレア (IB: International Baccalaureate) ディプロマ取得者を積極的に受け入れることにより、知識偏重型入試から「意欲・能力・適性を多面的・総合的に評価・判定する入試への転換」を図る



IB選抜の学生は、岡山大学で要素Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの能力をさらに伸ばし、学士力における教養・専門性をも身につける
岡山大学のグローバル人材育成の先導的な役割を担う

	H26年度 (実績値)	R1年度 (目標値)	R1年度 (実績値)
多様な評価尺度による入学者選抜を経た募集人員の割合	20.2%	30.0%	23.7%
入学者選抜に従事する役割分担別教職員の割合 【入試方法評価・分析】	100.0%	100.0%	100.0%
アドミッションオフィサー数	0人	2人	2人

科目等に関する調査・研究

- IB科目と日本の高校教育とのカリキュラム比較
 - ・IB Mathematics SL (IB数学SL)の学習内容
 - ・IB Mathematics HL (IB数学HL)の学習内容
 - ・IB Chemistry HL (IB化学HL)の学習内容
 - ・IB Biology HL (IB生物HL)の学習内容
 - ・IB Physics HL (IB物理HL)の学習内容
 - ・IB MathAA, AIの学習状況履修状況

- Theory of Knowledge Skills and Practice 翻訳

- IB Biologyと日本の高校生物との比較
- 国内インター校での日本語学習状況調査

- Theory of Knowledge
 - ・「知の理論をひもとく—UNPACKING TOK」出版



- IBインターナルアセスメントに関する調査研究

入学後の追跡調査・研究等

論文等

- ・岡山大学に入学した国際バカロレア・ディプロマ学生の状況について
- ・THE INTERNATIONAL BACCALAUREATE DIPLOMA STUDENT PERSPECTIVE ON STUDENT LIFE AT OKAYAMA UNIVERSITY
- ・IB Diploma students in Japanese Higher Education: Viewpoints of Faculty Academic Advisors Hosting IB students
- ・他、学会発表等

常時

- ・IB生と一般学生との英語ゼミ (月1~2回)
- ・IB生へのインタビュー、IB生サポート (LINEグループ)
- ・IB生アドバイザー教員へのインタビュー

IB入試により受け入れた学生の一般学生への影響についての検証

- ・グローバル人材育成特別コースでの実績の検証
- ・本入試における学生の追跡調査 (成績、進路等)
- ・当該学生、および周辺学生へのインタビュー調査

成果

- ・IB入試による在学学生数は52名であり、本学がスーパーグローバル大学創成支援事業採択校として取り組んでいる様々なグローバル化の活動において、IB生は中心的存在として活躍
 - ・IB入試導入を検討している他大学への情報提供
 - ・IBとその教育への理解を深めるための講演会等の開催
 - ・IB教育の調査研究と教育改革への活用等
- 以上の状況から、本事業の実施は、多面的・総合的な入試への転換を軸に、グローバル化や教育改革等で本学全体の改革の加速に大きく貢献